

平成30年度第1回伊賀市地域公共交通活性化再生協議会上野地域部会  
議事概要

■開催日時 平成30年8月21日(火) 午後7時30分～午後9時

■開催場所 ふれあいプラザ2階 第3会議室

■出席者 (敬称略)

【委員】

西出 健一郎(小田町住民自治協議会 会長)、今岡 勝(新居地区住民自治協議会 会長)、大谷 徹(友生地区住民自治協議会 会長)、奥 秀雄(伊賀市上野老人クラブ連合会 事務局長)、田邊 寿(社会福祉法人伊賀市社会福祉協議会 地域福祉部長)、谷 圭子(伊賀市民生委員児童委員連合会 副会長)、中田 洋二(上野商工会議所社会文化部会 部会長)、池澤 基善(一般社団法人伊賀上野観光協会 副会長)

【事務局】

交通政策課 課長 福岡 秀明、副参事 吉岡 徹也、  
主幹 坂森 莊平、主査 吉福 将徳

■傍聴者 0人

■会議概要

1. 開会

福岡交通政策課長 挨拶

課長	お忙しいところお集まりいただき、ありがとうございます。本日は、市役所本庁舎の移転にあわせて検討しております、上野コミュニティバス「しらさぎ」の見直し再編についてご協議いただきたく、よろしく願いいたします。
----	--

西出部会長 挨拶

部会長	お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。議事進行につきまして、ご協力のほどよろしくお願いいたします。
-----	---

2. 協議事項

上野コミュニティバス「しらさぎ」の運行計画について

事務局から資料1～3に基づき説明

【質疑応答】

部委員	利用者はどれくらいいるのか。
事務局	1便あたり平均3人。市内他地区でも行政バスを走らせていますが人口減少等の要因もあり、厳しい状況にあります。 年間2万5千人ほどの利用があります。子どもから高齢者ま

	<p>で、すべての方に活用いただけるシステムであるべきと考えています。</p> <p>数値だけ見ると利用状況は厳しいが、交通空白地をなくすという課題がある。</p>
部委員	<p>市庁舎が移転すると人の流れはどうか。今とは違う人の流れになるのかと思う。移転によりしらさぎの利用も見込めるように思う。三重交通への委託料はどうなっているのか。</p>
事務局	<p>運賃収入を差し引いて、年間2, 800万円ほどの委託料となっています。庁舎移転によりどうかはまだわからない。今は利用が1便あたり3人だが、県庁舎やハローワーク等施設も近辺にあるので期待はしている。</p>
部委員	<p>職員が定期券を持って利用するとかいったアイデアはどうか。</p>
事務局	<p>市役所の開庁、閉庁時間にあわせて、運行開始時間を早めるとともに、終了時間を遅くする予定をしています。市職員も利用できるダイヤなので、乗ってもらえればと思っています。</p>
部委員	<p>今回のコース見直しで委託料はどうか。</p>
事務局	<p>実質増便になるので、増額になるかと推測していますが、今の段階でははっきり数字にあらわすことはできません。</p>
部委員	<p>行政が運行するバスはすべて無料にしたらどうか。コミュニティバスがなくなるとはいけないと思う。コース等、今回提示のあった計画は良いと思う。</p>
事務局	<p>インバウンド客の誘客等、利用者増を図っていくことが必要と考えています。料金については、国から受益者負担は応分という指示もありますので、それに沿っていただいています。</p>
部委員	<p>これまでは市役所が上野市駅近くにあったので、上野市駅＝市役所で交通の結節点になっていたと思う。これからは四十九が結節点になっていくのではと思う。今までは市駅に行くというのが当たり前だったが、そのあたりも影響が出て来るだろう。</p>
事務局	<p>今の段階ではどのような影響が出てくるかわかりませんが、今回のルートやダイヤの改編は、これまで市民の方から不便だご意見をいただいていた内容を改善しようとしています。</p> <p>この内容で進めながら、今後調査もしていきたいと思っています。</p>

### 3. その他

#### 【質疑応答】

部委員	四十九地区で地域運行バスを走らせて、市民病院や市役所だけをまわるような便を設定してもよいのか。
事務局	既存のしらさぎのルートと重複することが考えられます。
部委員	四十九駅から市役所へ無料バスを走らせないといけないのでは。歩くには駅から距離があるように思う。
事務局	しらさぎのルート改編で、四十九駅に新たにバス停を設けさせていただきました。

(以上)